

TDB 圏域別景気 DI (2021 年 7 月)

2 カ月連続で 7 割超の 95 圏域で景況感が改善 ～ 基幹産業が好調な愛知県では全圏域で全国以上の景況感 ～

データソリューション企画部

池田 直紀

TDB 景気動向調査 (2021 年 7 月) の景気 DI は、前月比 1.6 ポイント増の 40.7 となり、2 カ月連続で改善した。国内景気は、東京五輪が開幕するなか、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響が地域で分かれる一方、ワクチン接種の普及などで経済活動が正常化に向けた推移となった。海外経済の回復傾向から半導体や自動車関連などを中心に輸出が急増を続け、製造業が経済全体をけん引した。本レポートでは、全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割し圏域別の景気 DI や、自動車産業がけん引し 2 カ月連続で改善している愛知県の 3 つの圏域に焦点を当て動向を捉えた。

1. 「佐久・上小」の景気 DI が 54.2 となり、130 圏域中トップ

TDB 景気動向調査 (2021 年 7 月) の景気 DI は前月比 1.6 ポイント増の 40.7 となり、2 カ月連続で改善となった。圏域別にみると 6 月調査に続き 130 圏域のうち 7 割を超える 95 圏域 (2021 年 6 月は 93) が改善、32 圏域 (同 32) で悪化となった。

また、景気 DI を 10 ポイント区切りで見ると、50 台以上は 3 圏域 (同 2)、40 台は 69 圏域 (同 51)、30 台は 58 圏域 (同 74)、20 台は 0 圏域 (同 3) となった。景気 DI が 40 台以上の圏域が前月より増加、そして 20 台以下の圏域もなくなったことで、全体の景況感を引き上げた。

そのようななか、長野県上田市などの「^{きく}佐久・^{じょうしょう}上小」は 54.2 で最高となったほか、同じく飯田市などの「^{すわ}諏訪・^{かみいな}上伊那・^{はんい}飯伊」(51.9) や熊本県八代市などの「^{けんなん}県南・^{てんそう}天草」(50.9) で 50 超となった。以下、宮城県大崎市などの「^{おほさき}大崎・^{あしはら}栗原・^{のぼり}登米」(49.0) や、埼玉県秩父市などの「^{しちふ}秩父」(48.3) などが上位に並んだ (図表 1)。

2. 愛知県における 3 圏域の景気 DI、前月比ですべて上向き、「西三河」では 5 ポイント近く改善

景気 DI が 2 カ月連続で改善となった愛知県 (43.7) では、海外向けを中心に自動車産業が好調な『製造』がけん引役となり、全国で 5 番目の高水準となった。

圏域別みると、豊田市などの「^{せいさん}西三河」が 45.8 (前月 41.0、前月比 4.8 ポイント増) で県内最高となった (図表 2)。企業からは、「この地域の自動車関連の仕事量については、忙しく感じる」(化学製品卸売、西三河) や「自動車関係は、モデルチェンジ等により好調」(段ボール箱製造、西三河)、「大手自動車メーカーの生産台数が回復している」(一般管工事、西三河) というように

¹ 企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出

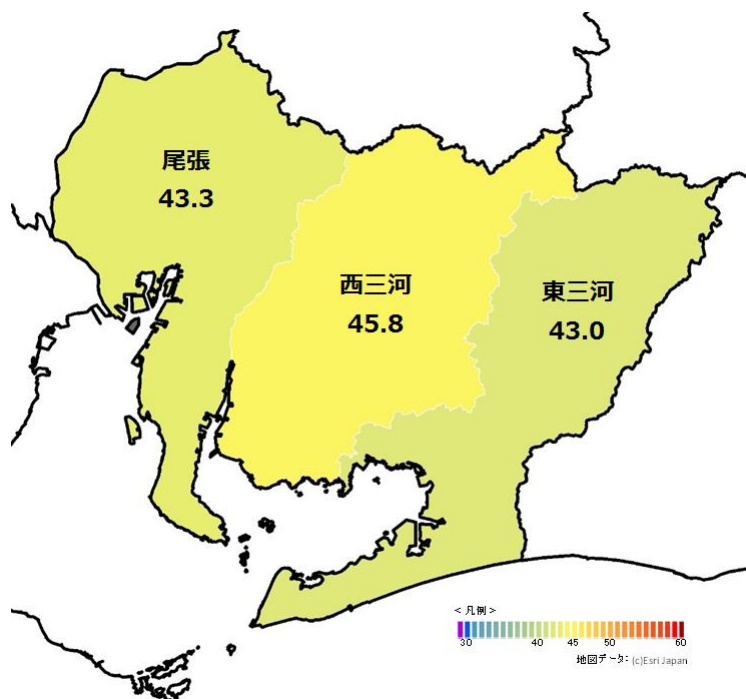
好調な自動車産業に関する声が多数あがっていた。次いで、名古屋市などの「尾張」が43.3（同40.5、同2.8ポイント増）、豊橋市などの「東三河」が43.0（同39.4、同3.6ポイント増）であった。前月より三河地区で大きく改善し、すべての圏域で全国平均を上回っている。

さらに「一軒家志向の消費動向への変化があり、注文住宅系の受注は悪くない」（木造建築工事、尾張）や「中途採用並びに新卒採用において活動スピードが速く感じる。特に中途採用においては自動車産業の回復により人材がなかなか出てこない印象」（労働者派遣、尾張）といった声があがっている。愛知県内において基幹産業である『製造』がけん引するだけでなく、『建設』や『サービス』など幅広く明るい声が聞かれ、県内の景況感を引き上げる要因となっていた。

図表1 2021年7月の圏域別景気DI（上位10圏域）

2021年7月調査－上位10圏域－				
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	長野県	佐久・上小	上田市・佐久市	54.2
2	長野県	諏訪・上伊那・飯伊	飯田市・諏訪市	51.9
3	熊本県	県南・天草	八代市・天草市	50.9
4	宮城県	大崎・栗原・登米	大崎市・栗原市	49.0
5	埼玉県	秩父	秩父市	48.3
6	神奈川県	神奈川県央	相模原市・厚木市	47.1
7	岡山県	美作	津山市・真庭市	46.9
8	秋田県	秋田県北	能代市・大館市	46.7
9	秋田県	秋田県南	横手市・湯沢市	46.4
10	愛知県	西三河	豊田市・岡崎市	45.8

図表2 2021年7月の愛知県3圏域別の景気DI



まとめ

本レポートでは、2021年7月のTDB景気動向調査を用いて、全国を130圏域に分割して圏域別の景気DIを算出し、特徴を捉えた。

2021年7月の圏域別の景気DIは、2カ月連続で7割を超える圏域で前月より改善となった。とりわけ、「佐久・上小」や「諏訪・上伊那・飯伊」、「県南・天草」で50超となったほか、40台の圏域も多くなってきた。

また、愛知県の3圏域をみると、自動車産業などを中心に好況となっている「西三河」を筆頭に、すべての圏域で全国平均を上回っていた。基幹産業だけでなく幅広い業種に波及し県全体の景況感を引き上げている。

しかし、2021年8月になると変異株などによる全国的な新規感染者数の急増は企業活動を行ううえで、懸念事項となっている。さらに、広範囲にわたる豪雨や土砂災害による企業活動の停滞も予想される。そのようななか企業が企業活動を行ううえでは、都道府県における各圏域の景気動向を注視することは重要となろう。

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

池田 直紀

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。